

### 国に令和3年7月豪雨災害の早期復旧と防災対策に向けた要望書を提出

令和3年7月豪雨災害で被災した地域の現地調査のため、7月28日に赤羽一嘉国土交通大臣、8月5日に宮内秀樹農林水産副大臣がそれぞれ本町を訪れました。上野町長が被災状況を説明し、早期復旧に向けた対策などを要望しました。

赤羽大臣には、虎居地区などの内水対策に向けた排水機場の整備や排水ポンプ車の追加配備について要望。また、川内川支流の護岸決壊が相次いだことから、抜本的改修についても要望しました。赤羽大臣は「国、県、自治体一体となって川内川流域の治水に力を入れたい」と話しました。



赤羽大臣（左）に要望書を手渡しました

宮内副大臣には、今回の被害が農林業者の生産意欲の減退に直結することから早期復旧を要望。また、応急復旧措置としての電気柵への助成と、ワイヤーメッシュ柵が復旧した後の電気柵への柔軟な対応を求めました。宮内副大臣は「農林業者に寄り添う形で、公がしっかりサポートするという思いで対処する」と話しました。

このほか、7月28日も赤澤亮正内閣府副大臣が災害視察のため本町を訪れ、激甚災害の指定や財政支援措置について要望しました。



宮内副大臣（右）に要望書を手渡しました

03.

## 多文化共生

英語のあいさつ

グッド モーニング  
Good Morning

おはよう

白 さつま町教育委員会

ノーエル サミュエル フロイド モント

Noel Samuel Floyd Mont さん (35)



ALTとして小、中学生に英語を教えるサミュエルさんは、サム先生と呼ばれ親しまれています。「小学3年生のときに、アニメのセーラームーンを見て日本に興味を持ちました」と話すサム先生。大学では日本語学を専攻し、28歳のときに来日しました。アニメ以外にもベースやギター、キーボード、ドラムの演奏、パソコンの自作、バスケットボールなど多くの趣味を持ち、授業でも児童生徒と英会話のきっかけになるそうです。「子どもたちに英語の楽しさを教えて、笑顔になってくれることが一番うれしいです」と熱意を込めて話します。

### 神馬場さんに法務大臣感謝状贈呈

7月20日、人権擁護委員として長年活動された神馬場寛章さん（中津川）に法務大臣からの感謝状贈呈式が行われました。神馬場さんは平成21年4月に法務大臣の委嘱を受け、4期12年にわたり町民の様々な人権相談に応じ、人権啓発や人権救済などの人権擁護活動に尽力しました。



人権擁護活動を続けてこられた神馬場さん（中央）

### 日特スパークテックWKSに町の写真

株式会社日特スパークテックWKSさつま工場に増設された排水処理棟の壁面に、町をPRする看板が設置されました。今回の設置は、壁面を利用し町と一緒にまちおこしをしたいと同社から提案があったことから実現。本町の四季折々の風景がプリントされ、道行く人を楽しませています。

春は空に向かって伸びる新緑の竹林、夏は雄大な川内川に乱舞するホタル、秋は真っ赤に染まった田んぼに咲くヒガンバナ、冬は寒さに負けずに励む同社ラグビー部の写真です。両サイドには、それぞれのイメージキャラクターのさつまちゃんとスパークキーがプリントしてあります。近くを通る際は交通安全に気を付けながらご覧ください。



縦約3m、横約27mの大きな看板

### 豪雨災害への寄附金・見舞金

令和3年7月豪雨に対し、町内外から多くの貴重なご寄附やお見舞いを頂きました。誠にありがとうございます。頂いた寄附金や見舞金は、被災者の生活再建などに有効に活用させていただきます。被害の把握と復旧に全力であり、今後も被災者救援とインフラの復旧に尽力します。

寄附はこちら

窓口・振込分 (8月6日時点)  
41件 3,168,054円



ふるさと納税分  
299件 6,797,000円



ふるさと納税

### 桑水流さんに観光夢大使を委嘱

8月10日、リオデジャネイロオリンピックの7人制ラグビーでキャプテンを務めた桑水流裕策さんに、さつま観光夢大使を委嘱しました。鹿児島県出身の桑水流さんは、鹿児島工業高校、福岡大学と進学し、コカ・コーラレッドスパークスに入社。令和5年に開催される「燃ゆる感動かごしま国体」のラグビーフットボール競技でも活躍が期待されます。

様々な大会に出場される桑水流さんに、観光夢大使として県内外で本町のPR活動などの情報発信をしていただきます。桑水流さんは「高校時代にラグビー合宿でお世話になったさつま町の観光夢大使をさせていただき大変光栄です。1人でも多くの方にさつま町をPRできるように積極的に活動していきたいと思います」と話しました。



国体の成功に向け町のPRをお願いしました